

# 脳卒中のリハビリテーション



ご自宅にリハビリの専門職（理学療法士、作業療法士）が訪問いたします。  
住み慣れたご自宅や地域で安心して暮らしましょう。  
リハビリはつらくありません。前向きな気持ちで取り組みましょう。

脳卒中の後遺症には手足のまひや言語や記憶など様々な症状があり、ご本人の日常生活へ大きな影響が出ます。

リハビリを継続することでお体の調子を整えて、起きる、立つ、歩くなどの動作の向上を図ります。動作が改善すると日常生活での洗面、更衣、食事、お風呂、トイレ、などの活動が行いやすくなります。

## 日常生活で困っていることや不安はありませんか

まひがあり手足を動かしにくい  
筋肉がつっぱって関節がかたくなっている  
起き上がったり、立ち座りや歩くのが行いにくい  
ころびそうで不安・よく転ぶ  
着がえや洗面、食事、お風呂、トイレなどの  
日常生活での動作がおこないにくい  
ベッド上での生活になっている  
息切れがする  
認知症のような症状がある  
高次脳機能障害（失語 失認 失行など）がある  
その他、日常生活で困っていることがある。



訪問看護ステーション リ・ホーム

〒651-1113 兵庫県神戸市北区鈴蘭台南町3-12-14

TEL:078-907-5696 FAX:078-907-5697

<https://soresys.co.jp/>



※ 事前にご自宅へリハビリの職員がご説明におうかがいいたします。  
ご希望される方は担当のケアマネージャー様にご相談ください

# 訪問リハビリでは この様なことをします

一人ひとりの心身の状態にあわせて  
下のような内容のリハビリを組み合わせた  
無理のないプログラムを行います

- ・健康状態や心身機能の観察と把握
- ・コンディション作り  
こわばった筋肉や固くなった関節を  
動きやすくするためのストレッチや運動
- ・手足を動かす練習
- ・身体機能に合わせての動作練習
- ・座ったり、立ってのバランス練習
- ・歩行練習
- ・洗面や着替え、お風呂やトイレなど日常生活動作の練習
- ・高次脳機能障害の作業療法  
失認・失行（対象が何かわからない・行動がわからない）等
- ・福祉用具の選定や手すりの配置など生活環境の設定
- ・普段からご自分でできるリハビリテーションのご紹介
- ・その他

無理せず  
ゆっくり  
ゆっくり

